
残留

雪芳

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
残留

【Nコード】
N3536J

【作者名】
雪芳

【あらすじ】
男がさ迷う理由とは。ショートショート。

長年付き添った妻が死んだ。

空虚な思いや悲しさが沸き上がり、狭苦しい私の心を奪い合う。
その痛痒い感覚から逃れたくてブラリと夜の河原を歩く。

生前、妻とよく通った土手は夜の天幕に隠されて鈴虫だけが存在
を奏でる無そのもので、行き先も決めず流浪すれば埋められるかも
しれないと思った隙間はやはりどうにもならない。

仕方なく家に帰るも、当然ながら明かりはない。

昔、私がよく働いていた時代。日も変わろうとする時間でも、妻
は電気をつけて私を待っていた。よく、好物の炒飯を作り、居間で
舟を漕いでいた。そして私の気配に気づき目をしばたくと、こう呟
くのだ。

あら帰ってきたの、おかえりなさい。

素っ気ない、だが愛情の滲むその声が私をどれほど暖めていたか。
ついぞお前に語らずじまいだったのだなど、私は改めて思い知り、
次第に沸き上がる苛立ちにうち震える。

何故。どうして。置いてった？ いつもいつも待ってくれたお前。
どこに行ってしまったのか。

家には私一人。

明かりもなく、炒飯はすでに腐っている。

ついに、やり場のない怒りに耐えられず、私は噴き出す感情のまにちゃぶ台やらなにやらをひっくり返し始めた。

吹き荒れる鬱憤は晴れることなく体軀をせめぎあい、駆けずり回り、弾け続ける。

それさえも苦痛になってようやく、私は畳に崩れるように膝を落とし、そして泣いた。

号泣した。

何故、何故何故何故。

「どうしてだ？」

嗚咽混じりに絞り出した疑問符が夏の芳香にとろけてゆく。肩で息をしながら、私はよろけながら仏壇に近づく。虚しくて悔しくてたまらない。

誰にも聞こえることのない言葉を吐く。

私は待っていたのに。お前を待っていたのに。

事切れたのに誰にも見つからず、死を通りすぎて壊れてゆくお前の肉体。仏壇に供えられた炒飯さえも共に腐っていく。こんなにもはつきりとお前の名残があるのに、どうしてお前は居ないのか。

「どうしてお前だけ天国に行けたんだ？」

答えるものはどこにもおらず。私はただただ、仏壇に置かれた炒飯と私の写真を俯瞰しながら、立ち尽くす。

（後書き）

2007年執筆。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3536j/>

残留

2011年1月28日02時16分発行